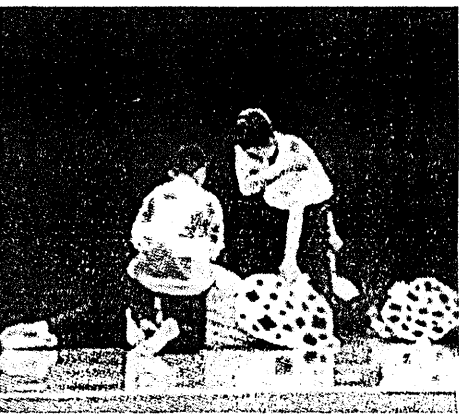


# 熱中症予防

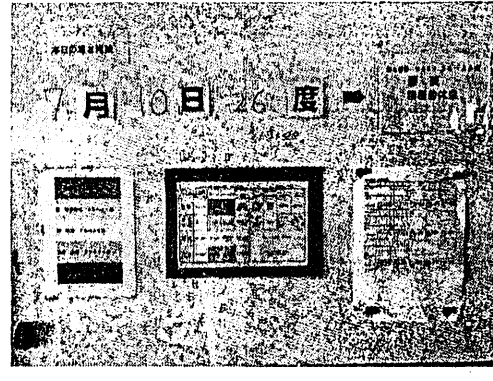
## 生徒の活動を中心に 感染対策との両立を目指しながら

### 兵庫県たつの市立龍野東中学校 主幹教諭 全国養護教諭連絡協議会 副会長 嵯峨山 文子



多く見られました。生徒や保護者からも、過(8)月には、お盆の時期を除いて授業を実施しました。本校は熱中症を予防することを第一に考えて、平素の時間を更(更)しました。朝の涼しい時間帯に部活動を1時間程実施した後に授業、続いて給食を食べ、午後の部活動はなしで下校させました。本校が本格的に再開したのは6月が(6)月でした。この頃すでに気温と湿度が高い日が続いてきたため、感染(感)手(手)熱中症(熱)予防策(策)の両者のバランスの取り方に迫られては、難しい対応を迫られました。特に文科省や、市教育委員会の通知を確認しながら校内学校保健委員会(会)で協議し、共通理解の上で進めました。

兵庫県たつの市は、県南西部の西播磨地域に位置し、市の北側には山地が広がり、南は瀬戸内海に面しています。市内には清流揖保川が流れ、自然環境に恵まれた風土が、西播磨地区では最も生み出した手延そうめんや醤油醸造、皮革産業、かぼん産業といった地場産業が盛んです。また本市は「萬福(ばんぷく)赤とんぼ」の暑さ指数掲示板



は、300mm~1500mm程度となっており、全国的に温暖で雨が少なく典型的な瀬戸内式の気候ですが、例年6月の半ば以降からは熱中症対策が必要となります。

具体的には、毎日の暑さ指数測定と、校内放送での注意喚起、暑さ指数(指)掲示板(指)への暑さ指数記入(指)を行っています。この掲示板は暑さ指数を効果的に伝えるために、視覚に訴えられるよう色別にインフルに作成しています。

9月の体育大会では、運動場の本部前掲示板を(指)設置し、暑さ指数をリアルタイムで掲示するとともに、体育大会中にも保健委員が熱中症予防のための呼び掛けを放送しています。会場内の生徒職員保護者にリアルタイムに伝えることで、こまめな水分摂取や休憩時間の調整などの対応が臨機応変にできています。

また、本校は30数年の夏季の異常な高温に対応するために、校内教職員的生活指導委員会(会)で検討した結果、校内へのスポーツ飲料の持ち込みを(指)通年可としています。さらには昨年からのクールレス対応として、気温が高い時期は、夏の体操服(指)前(指)は制服のみで授業を受けられることも可となりました。昨年は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、教室の4隅の窓を(指)常時開放しながら給食を(指)移動したことも影響し、夏の体操服で過ごす生徒が少なく見られました。生(8)月には、お盆の時期を除いて授業を実施しました。本校は熱中症を予防することを第一に考えて、平素の時間を更(更)しました。朝の涼しい時間帯に部活動を1時間程実施した後に授業、続いて給食を食べ、午後の部活動はなしで下校させました。本校が本格的に再開したのは6月が(6)月でした。この頃すでに気温と湿度が高い日が続いてきたため、感染(感)手(手)熱中症(熱)予防策(策)の両者のバランスの取り方に迫られては、難しい対応を迫られました。特に文科省や、市教育委員会の通知を確認しながら校内学校保健委員会(会)で協議し、共通理解の上で進めました。

■おわりに  
新型コロナウイルス感染症は変異株が広がりをみせ、3回目の緊急事態宣言が発表、延長となるなど、予断を許さない状況が続いています。感染(感)手(手)熱中症(熱)予防策(策)を継続しながら、熱中症予防に取り組まなければならない時期が再び巡ってきました。今年も子供たちが暑い夏を乗り切り、健康で安全に学校生活を営むことができるよう、校内外で組織的に連携・協働しながら、取り組んでいきたいと思っております。